

令和7年第4回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
1	2	小嶋匡晴	<p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョン7.0について (1) 大崎市の小児科診療体制整備の現状認識と課題把握について (2) 小児科医不足への対応策について (3) 大崎市及び大崎圏域における地域完結型の小児医療体制の構築について</p> <p>2 5歳児就学前相談モデル事業について (1) 本事業の現状認識と課題について (2) 保育施設、関係機関との連携について (3) 就学支援との接続、関係部局の連携強化について (4) 本格実施に向けての今後の方向性について</p> <p>3 全国こけし祭りについて (1) 全国こけし祭りの位置づけと大崎市の基本方針について (2) 本祭事における鳴子温泉の文化的価値と地域にもたらす影響について (3) 地域、実行委員会との意思決定プロセスの透明性と合意形成について</p>	
2	9	伊勢健一	<p>1 鳥獣被害対策について (1) 本年の市内でのクマの出没及び人身被害の状況について (2) クマが出没した際の、本市の対応フローと、緊急銃猟について所見を伺う (3) イノシシ被害の対応状況、ジビエ施設の稼働状況と、ジビエの販売状況について</p> <p>2 小学校跡地利活用について (1) 小学校跡地利活用について、今年度の進捗状況について所見を伺う (2) 小学校跡地利活用の今後の方向性について所見を伺う</p> <p>3 自衛隊との連携について (1) 災害時における自衛隊との連携に対する考え方について所見を伺う (2) 自衛隊員募集に関して本市の取組について所見を伺う</p> <p>4 障がい児・者歯科診療について (1) 本年10月にスタートした障がい児・者歯科診療について、診療の現況と設立までの経過について伺う (2) 障がい児・者歯科診療について、1市4町による連携の現状と今後の方向性について所見を伺う</p>	
3	10	鹿野良太	<p>1 令和8年度予算編成方針とDXによる行政体質改善について (1) 令和8年度予算編成方針において、一般財源前年度比約10億4,700万円削減を目標とする方針が示されている。10億円強の削減となれば、単純な経費節減で</p>	

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
			<p>はなく、事業の再設計や優先順位づけが避けられない。</p> <p>事業整理・優先順位づけの基準と予算判断軸の設定について、継続・強化すべき事業、見直しや縮小する事業、廃止・統合すべき事業、デジタル化により効率化・形態転換が可能な事業、これらを整理する基準・フレームワーク等をどのように設定したのか伺う。</p> <p>また、透明性ある判断として、市民にも説明可能な仕組みを構築する考えがあるか伺う</p> <p>(2) DXによる業務改革と働き方変革の位置づけについて</p> <p>財政削減だけでなく、人口減少・採用難・職員負担増が進む中、単に予算を削るだけではなく、行政の仕事のやり方自体を変える必要がある。</p> <p>そこでBPR（業務棚卸・廃止・統合）、AI・RPAによる定型事務の自動化、オンライン行政サービスの定着、ガバメントクラウド活用による事務標準化など、DXを働き方改革と行政体質改善の手段として位置づけ、予算編成に反映する考えがあるか伺う</p> <p>(3) DX投資に対する効果測定と財政戦略への反映について</p> <p>DXを単なるコストではなく、未来の行政コスト削減と市民サービス維持につながる投資として扱うことが重要である。</p> <p>その上で、投資対効果（ROI）、成果指標（KPI）の設定、削減効果（時間・業務量・人件費等）の可視化、効果検証結果を翌年度予算へ反映するサイクル運用、EBPM（データに基づく政策判断）の活用、これらを予算制度として組み込み、継続的な評価と改善を行う体制を構築する考えがあるか伺う</p> <p>2 二地域居住とふるさと住民登録制度について</p> <p>(1)これまで二地域居住・ふるさと住民制度に関し提案してきたが、府内検討体制、調査研究、先行事例調査の進捗はどこまで進んでいるのか</p> <p>(2)移住促進や関係人口の拡大を目的に、限定エリアでのパイロット実施や、モニター募集など段階的導入の可能性を検討しているのか</p> <p>(3)大崎市として制度導入を判断するための基準（人口動向・税収・地域活動参加・空き家活用など）と、導入した際の効果測定指標（KPI）設定の方向性をどう考えているか</p> <p>3 古川西小中学校開校3年目の振り返りと今後について</p> <p>(1)学校運営・教育成果の検証について教育成果や運営面のメリット・課題をどのように分析しているのか</p> <p>(2)地域・家庭・学校連携の質向上について地域協働活動・キャリア教育・多文化共生教育など、外部連携教育の取組状況と今後強化すべき視点をどう整理して</p>	

発言順	議席番号	氏名	発言事項
4	18	横山悦子	<p>いるのか</p> <p>1 ギャンブル依存症について (1) ギャンブル依存症が深刻な社会問題になっている現状について、どのように認識しているのか伺う (2) ギャンブル依存症の低年齢化が進んでいる。どのように認識しているのか伺う (3) 本市の相談体制と取組について伺う (4) ギャンブル依存症について、市のホームページに掲載し、早期発見できる自己診断テスト「L O S T」や相談窓口について周知を図るべきと思うが、本市の考えについて伺う (5) 令和6年3月11日付こども家庭庁通知「離婚協議中の者に係る児童手当等の認定について」の中で、ギャンブル等の依存症により受給者変更が可能であるとの記載がある。この通知について周知を図るべきと思うが、本市の対応を伺う</p> <p>2 市民福祉サービスについて (1) 障害者手帳情報をスマートフォン上で管理できるアプリがあり、このアプリの提示を障がい者であることの確認手段として導入する自治体が増えているが、本市の現状について伺う (2) 行政サービスにおいても、障がい者手帳アプリの活用を図るとともに、関連する民間事業者に対して障がい者アプリの活用を働きかけ、障がい者の利便性向上に努めるべきと思うが、本市の考えについて伺う</p> <p>3 大崎市民病院総合診療科について (1) 特定の臓器や疾患に限定されず、全身を幅広く診る診療科の総合診療医について、大崎市民病院の現状を伺う (2) 総合診療科のメリットは、多角的な視点から患者様を一貫して診ることである。高齢化が進む地域医療を支える役割を担える総合診療医の育成について伺う</p>
5	8	早坂 豊	<p>1 市役所職員の職場環境について (1) 職員の異動について、省庁をイメージし、適性を生かしてより専門性を高めるために、部の中だけで異動を行うことはできないか、所見を伺う (2) 姉妹都市との相互理解や連携を深めるために、人事交流を積極的に行うべきと考えるが、所見を伺う (3) 一部の業務のアウトソーシングについて、財政的な面や人材不足を補う観点からも検討が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>2 おおさきジビエについて (1) おおさきジビエの存在はまだまだ知られていない。普及啓発、PRを今後どのようにしていくのか、所見を伺う (2) どこで売っているのかのほかに、どこで食べられる</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
6	27	鎌内つぎ子	<p>のかを聞かれることも多い。市内飲食店や宿泊施設との連携は進んでいるのか (3) おおさきジビエを広く知らしめるための定期的なイベントが必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>1 インフルエンザ予防接種の無償化について (1) 財源について (2) 県に子ども医療費助成制度の拡充の働きかけについて (3) ワクチンの効果について</p> <p>2 さくら保育園の建て替えの展望について (1) 建物調査報告書によると既存不適格建物に該当の診断であるが、いつ来るかわからない地震や災害に対して令和8年度の市の対応策について伺う (2) 国の就学前教育・保育施設整備交付金の活用しての建て替えの可能性について伺う</p> <p>3 学校給食費無償化について (1) 令和8年度から小学校の給食費無償化が開始される見通しだが、無償化に当たり市としてどのような対応を行うのか伺う (2) 中学校についても国ではできる限り速やかに無償化を進める方針だが、物価高騰に伴う子育て世帯支援で中学校の給食費の支援について</p>	
7	1	藤本勘寿	<p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョン7.0について (1) 持続的な市政運営のための行財政改革の進捗と令和8年度予算編成方針について (2) 地元企業の人材確保、事業承継対策の大卒人材活用策について (3) 日本初の国際卓越研究大学に指定された東北大学との連携について</p>	
8	20	遊佐辰雄	<p>1 訪問介護体制崩壊の危機とあるべき大崎市の対応について (1) 特に過疎地である鳴子、岩出山地域の西部事業所では12人のヘルパーであたっているが、大幅な赤字でも撤退はできないと必死に頑張っている。そこで、山形県南陽市や岩手県遠野市のように介護保険給付基条例を改正し、減収分を補填すべきではないか (2) 年々減り続いているヘルパーの待遇改善を図り、担い手確保に最大限の努力をすべきではないか</p> <p>2 岩出山下野目字新雨沼地内の国道47号に横断歩道を設置することについて (1) この付近にはスーパー、ガソリンスタンド、葬儀社、車販売店、日用雑貨店、食堂、ドラッグストアがあり、買い物等で互いに国道を横断しないと不便である。現在の横断歩道までは300メートル以上もあり、高齢者は危険を冒して横断している状況であることから、横</p>	

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>断歩道を設置してほしいとの住民の声が多く聞かれる。大崎市としての対応を伺う</p> <p>3 ミヤコーバス古川・鳴子温泉間の岩出山要害地区の深山バス停留所に待合室を設置することについて</p> <p>(1) この深山停留所付近には、スーパーセンターがあり、高齢者がバスで買い物に訪れる。これから、冬場を迎える雨風、吹雪が多くなる。深山バス停へ待合室を設置することについて大崎市としての対応を伺う</p>
9	12	八木吉夫	<p>1 財政危機からの脱却について</p> <p>(1) 売却可能資産の総額について伺う</p> <p>(2) 企業誘致や企業と歩むプロパー職員の育成について伺う</p> <p>(3) ふるさと納税の拡大施策について</p> <p>(4) 産業総生産高の推移について伺う</p>
10	17	木村和彦	<p>1 大崎市主要国道の整備計画について</p> <p>(1) 国道4号、都市計画変更を受けての大崎市の対応について</p> <p>年末を迎え最近は、車の通行量も増加し、渋滞も頻繁に見られるようになった。主要道路の整備が都市交通に与える影響は大きい。道路特定財源が見直しされて以来、工事の進捗が大きく遅れているように感じるが、今後の対応について伺う</p> <p>(2) 石巻新庄・新庄酒田間の期成同盟会での今後の対応と情報共有について</p> <p>石巻新庄・新庄酒田間の高規格を求める運動は、大変息の長い要望となっている。古川東バイパスが完成した今、高規格化を進める運動を一層特化して進めるタイミングと捉えているが、今後の計画について伺う</p> <p>2 子育て支援策について</p> <p>(1) 屋内での遊び場の確保、建設の見込みについて</p> <p>自力での建設が難しいのであれば、大手ショッピングセンターの一角を利用する方法はどうか。また、資金調達にクラウドファンディングの手法は</p> <p>(2) 建設をせずに今ある施設の活用について</p> <p>会派で視察したようなおもちゃや遊具を直接持参して遊び場を造る手法は</p> <p>3 夜間の安心安全について</p> <p>(1) 飲食店の営業形態について</p> <p>飲酒運転防止の観点から、街中巡回を行っているが、大方の飲食店の営業が終了した深夜において、泥酔者や深夜徘徊が見受けられるとの意見を頂戴する機会がある。12時を過ぎての防犯、巡回について伺う</p> <p>(2) 運転代行者やタクシー会社との連携について</p> <p>営業時間が過ぎても、運転代行の手配がつかず、店で待機を余儀なくされる事態も急増している。運転代行者やタクシー会社との連携も必要と思うが、窓口にな</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
11	7	石田政博	<p>りうるところはあるのか</p> <p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョン7.0について (1) 大崎市内の遊休施設を活用した、遊び場や屋内遊戯施設の検討状況や施設運営企業へのアプローチについて (2) 社会福祉協議会や包括支援センター、公立保育施設との連携による子育て環境整備状況について</p> <p>2 地域内通貨の必要性と合理性について (1) 昨年の9月議会で、各地域のポイント制度との融合なども関連機関と検討を進めるとの回答を受けたが、進捗状況について伺う (2) 公共交通調査特別委員会で福島県会津若松市、喜多方市を視察したが、以前に紹介した山形県長井市同様に地域内交通での活用が進んでいる。電子通貨の利点は、利用データの蓄積、活用である。前にご回答いただいた序内横断の会議の進捗を伺う</p> <p>3 地域自治組織運営の現状について (1) 従来から提起しているが、自治組織の役員は、無償のボランティアで運営してきた。会議や打合せはこなせても事務作業の負担はいまだに大きく、改善の余地があると思うが、検討は行わないのか</p> <p>4 陸羽東線の利便性向上に向けた取組状況と、JR東日本との交渉の現状について (1) 乗車状況の推移を踏まえた新たな取組の企画について (2) 補助事業の活用実績について (3) JR東日本と利便性の向上に向けた交渉状況、今後の見通しについて</p>
12	25	小沢和悦	<p>1 大崎市の水道事業の民営化について (1) ウオーターPPP問題への対応について (2) 世界で水道民営化後、公営に戻す国が増えていることをどう認識しているか (3) 市長のウォーターPPP＝コンセッション方式（民営化）への対応姿勢について</p> <p>2 中山間地への頻繁なクマ出没と耕作放棄地の拡大を防ぐ農地の有効活用について (1) 中山間地で農作業中、クマに襲われる事故が発生し、不安で仕事に行けない事態が生じている。農地を太陽光発電用地として利用したいと希望しても、行政に許可してもらえず、このままでは放置せざるを得ず、今よりもさらにクマが身近に迫ってくるのではないかという不安が増している。こうした事情に鑑み、農地転用許可申請に対し、太陽光発電装置が設置できるよう、弾力的対応が可能となるよう農地法及び農地法施行令の見直し等を関係機関に申し入れ、早急に実現できるよう市長に努力していただけないか</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
			<p>3 東北圏域広域地方計画に位置づけられた中核的広域防災拠点の三本木地域誘致について (1) 国による中核的広域防災拠点の候補地として、三本木地域が挙げられていることについて (2) 県知事から大崎市に対し、具体化に向け動き出すよう求められているという認識は持っているのか (3) 災害時には防災拠点の役割を果たし、平常時は総合スポーツ公園として地域活性化拠点の役割を果たす施設としての整備を目指すことについて</p> <p>4 国土交通省に住民との約束を守っていただくことについて (1) 都市計画道路稲葉小泉線の国道47号接続との関連で生じている諸問題への対応について (2) 大崎市が呼びかける関係住民等と関係機関の話し合いの場に、国土交通省から出席いただくことについて</p>	
13	19	関 武徳	<p>1 江合川かわまちづくり計画の進捗と今後の事業推進の考えについて (1) 河川敷活用の整備について、国交省や地元関係者とのような協議が進められてきているのか (2) 整備範囲や機能づけは、どう考えられているのか (3) 整備後の運営主体と本市の関わりの考えについて</p> <p>2 企業誘致の取組と地元事業者への支援策について (1) 企業誘致の現状と課題をどう受け止め、対応されているのか (2) 経営環境が厳しさを増す中で、地元事業者への支援、連携はどう取り組まれているのか</p> <p>3 都市計画道路李坪・新田線整備の進捗について (1) 道路整備の進捗は計画通りと受け止めていいのか (2) 今後の建設促進についての見通しを伺う</p> <p>4 農林業系汚染廃棄物処理のこれまでの取組現状と今後の見通しについて (1) 市が処理すべき対象物の総量が保管当初に比べると減少しているが、なぜか (2) 農家保管解消後、8,000ベクレル超は指定廃棄物申請を行うとしているが、理由を伺う (3) 今後の全量完全な処理までの見通しを伺う</p>	
14	21	只野直悦	<p>1 世界農業遺産認定の継承と展望について (1) 鳴子ダムの恩恵について ア 令和7年度の高温・干ばつに対応した本市と鳴子ダムの連携について イ 鳴子ダムが、貯水率0%での異常渴水補給放流がもたらした効果を次世代になんらかの形で継承する考えについて (2) 加護坊山を国登録記念物（名勝地）とし登録することについて ア 加護坊山が持つ、文化的・景観的価値についての再</p>	

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
15	23	氏家善男	<p>認識</p> <p>イ 国登録記念物（名勝地）登録への条件と可能性について ウ 加護坊山の登録申請を前向きに検討することは、本市の宝に磨きをかけることになると思うがどうか</p> <p>(3) 郷土芸能の保存継承について</p> <p>ア 世界農業遺産資源における農耕文化の位置づけについて イ 本市における無形民俗文化財の保存継承の現状について ウ 鬼首神楽の歴史と保存活動の状況について エ 鬼首神楽を県指定無形民俗文化財へ登録し、貴重な文化遺産として保存継承する考えについて</p> <p>2 大阪府田尻町との交流拡大について</p> <p>(1) 相互交流の状況と今後の展望について ア 中学生のオンライン交流の成果と展望について イ 今後の展望について</p> <p>1 物価高騰対策について</p> <p>(1) 重点支援地方交付金について ア 本市への交付額の試算はどれくらいになるか イ 使途は自治体の自由とされるが市の考えは (2) お米券について ア 配布は全国一律ではなく自治体の判断とされるが、本市での考えは イ 配布は事務費等コストがかかるとされているが、どう取り組むか ウ お米券イコール商品券の考えは</p> <p>2 土地改良事業条例改正の進捗状況について</p> <p>(1) 令和6年第4回定例会での一般質問の答弁では、条例適用となるおおむね10ヘクタールとした面積要件及び事業費の10%とした補助率の見直しを検討することであったが、進捗状況を伺う ア 改正の時期は イ 改正のポイントについて</p> <p>3 地域部活動推進計画について</p> <p>(1) スポーツ庁の中間取りまとめでは、令和7年度末で全国の31%の自治体が平日の部活動を地域に移行する計画であるとし、令和8年度には39%が移行との計画を発表しているが、本市の状況を伺う ア 受け皿となる団体の状況 イ 地域移行への課題</p> <p>4 岩出山中学校の大規模改修について</p> <p>(1) 岩出山中学校は、平成8年に3校が統合し4月に開校した。来年で築30年を迎えることになるが、現状では雨漏りが常態化しており、改修の必要性が認められるが、改修計画について伺う</p> <p>5 鳥獣対策について</p>	

発言順	議席番号	氏名	発言事項
16	13	佐藤講英	<p>(1) 有害鳥獣駆除対策の予算について ア 駆除隊員への報酬 イ 柿や栗の木伐採の取りまとめ状況と予算 ウ 空き家所有者の伐採への対応 エ 物理柵設置要望への対応</p> <p>1 大崎市消防団の機能強化と持続可能な活動に向けた市長の決意について (1) 大崎市消防団整備計画の実行と市長の認識について (2) 広報・P R活動や団員加入促進、地域との絆の強化に向けた(仮称)大崎市消防団音楽隊設置の政策提言について (3) 消防団活動の負担軽減と実効性の確保について (4) 被用者団員対策と大崎市消防団協力事業所表示制度のインセンティブによる事業所連携の強化について</p> <p>2 財政健全化の取組について (1) 市民ニーズの把握と分析方法について (2) スクラップ・アンド・ビルトの判断基準の透明化について (3) 市民参加型による合意形成と地域別ニーズに応じた事務事業の再構築について (4) 市民価値に基づく新規事業の設計について</p> <p>3 大崎市D X推進の現状と課題について (1) 大崎市D X推進計画のこれまでの成果や課題と市長の総括について (2) マイナンバーカードや公式L I N Eの登録状況について (3) オンライン申請の利用率が伸びない原因と、高齢者のデジタル格差(利用不安・支援不足)に対する支援体制の強化について (4) 市民意識調査に基づき、市民中心のD X推進計画の再設計について</p>
17	5	加川康子	<p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョン7.0について (1) これまで学校教育の充実として令和の日本型教育の強力な推進が求めてきたが、すべての子どもたちの可能性を引き出すことを目指す令和の日本型教育、誰一人取り残されない学びの実現を掲げるN E X T G I G A構想の理念を踏まえ、様々な事情で学校に通うことが難しい児童生徒に対し、G I G A端末が、学習支援や人との接点の確保といった観点でどのように活用されているのか、現状と今後の方針を問う</p> <p>(2) 国のG I G A構想では、S o c i e t y 5.0時代に対応する資質・能力や課題解決力の育成が示されている。本市においても、N E X T G I G A構想において「自ら考え行動し、社会の変化に対応できる人材の育成」を基本目標とし、個別最適な学びや探究的な学びの支援などを掲げている。市内には製造業をはじめ</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
18	22	富田文志	<p>とする多様な産業があり、国でも推進されているS T E A M教育の観点も踏まえながら、探究的な学びとして、これらと教育の接続を考えてはどうか</p> <p>2 人的資本を育て生かす人材育成の在り方について</p> <p>(1) 大崎市人財育成基本方針では、「育成型ジョブローテーションにより、採用から10年間で3部署程度を経験させる」、また「幅広い知識・経験の機会を設けるためジョブローテーションを実施する」と明記されており、実質的に3年程度のローテーションを基本とした人事運用が行われているが、年度末への異動集中と短いローテーションにより、専門性、市民との信頼関係、改善の知見といった人的資本が十分に蓄積されない懸念がある。本市として、異動の時期やサイクルが職員の専門性、経験、信頼関係などに与える影響をどのように認識しているのか。その上で、こうした人的資本の損失の可能性を踏まえ、異動の時期、サイクルの見直しを検討する考えはあるか</p> <p>(2) 市民ニーズの多様化や行財政改革等を踏まえ、組織内部に専門性を蓄積していくことは不可欠であると考えるが、企業における実務型の長期派遣、大学院や社会人スクール等での専門性強化を組み合わせ、専門人材を育成する仕組みを導入してはどうか</p> <p>(3) 本市では、階層別研修などの各種研修が実施されているが、研修で得た知識や気づきを職場で共有、活用し、業務改善につなげていくプロセス及び、それらの取組を組織としてどう評価していくかという点については、現行の仕組みに見直す余地があるのではないか。本市として、この点にどのような課題を認識し、今後どのように仕組みを見直していく考え方</p> <p>1 「大崎市民病院経営強化プラン」の現状と課題について</p> <p>(1) 地域医療の構造改革と機能分化や連携強化の取組の現状について</p> <p>ア 構造改革と機能分化や連携強化の取組は目標どおりに進んでいるのか イ 基幹病院としての本院の役割、高度・専門医療などを集中するための医療スタッフの現状は</p> <p>(2) 医師や看護師などの人材確保と働き方改革の現状について</p> <p>ア 将来を見据えた若手医師確保策の現状 イ 長時間手術の現状と働き方改革の取組</p> <p>(3) 経営見通しの現状と課題について</p> <p>ア 高度・専門医療などを提供するために最新医療機器を導入しているが、そのことが必ずしも経営改善に結びつかない課題をどう捉えているか イ 収支改善のために消費税の問題は大きいと思うが、制度の改革を含めて病院事業としてどのように整理</p>	

発言順	議席番号	氏名	発言事項
19	11	佐藤仁一郎	<p>しているのか</p> <p>(4) 地域医療の連携の現状と他の地域との連携について ア 地域医療連携の現状と課題 イ 他地域の基幹病院との連携の現状と課題について</p> <p>1 高齢者福祉事業の廃止・見直し等の方針について (1) 高齢者福祉サービス系に位置づけられている高齢者福祉事業の中で、令和7年度末で廃止・見直し等の方向性が示されているものもある。あまりにも唐突で、利用者及び事業受託者に不安や不信感を与えるものであり再考を求めるとともに、以下の事業の廃止・見直しの理由について所見を伺う ア 会食サービス イ 軽度生活援助事業 ウ 高齢者世話付き住宅生活援助員派遣事業 エ 家族介護教室及び家族介護者交流事業 オ 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 カ 敬老事業 キ 徘徊高齢者家族支援サービス</p> <p>2 介護予防事業の所管替・廃止の方向性について (1) 所管替・廃止の方向性が示された以下の事業について、その内容と理由を伺う ア 生活支援体制整備事業 イ 地域活動予防支援事業（高齢者のつどい） ウ 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業委託（いきいきクラブ） エ 在宅医療・介護連携推進事業</p> <p>3 支所対応経費の廃止の方向性について (1) この支所対応経費は、これまで総合支所及び地域住民のささやかな願いである地域振興や課題解決の原資として活用してきた。公共施設の軽微な修繕や、地域公園の環境整備などは、住民のボランティアや賛助金を加え、数年にわたる計画を立て少しづつ進行してきた事業もある。なぜ、削減ではなく廃止の方向なのか所見を伺う</p>
20	4	山田匡身	<p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョン7.0について (1) 企業版ふるさと納税や寄附の活用について (2) 遊休不動産の有効活用について (3) 将来的な雇用確保のために幅広いジャンルの企業を誘致する考えについて</p> <p>2 事業見直しに関する説明の在り方について (1) 行政診断等の結果、事業の縮小・廃止・再編が必要と判断された場合、住民や関係団体に対する丁寧な説明をどのようにしていくのか、具体的な方針を伺う (2) 住民説明会の開催やパブリックコメント等を通じ、住民の意見を適切に反映させる仕組みをどのように整えるのか</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
21	24	木内知子	<p>(3) 事業評価の指標と透明性の確保策について</p> <p>1 大崎市の行財政運営改善基本方針について (1) 何を削り、何を増やすかを明確にし、取り組むのか (2) 日本共産党大崎市議会議員団の予算編成に関する申入れ書で示した提言に対する市長の見解について</p> <p>2 大崎市公共施設等総合管理計画における公民館整備について (1) 松山公民館のエレベーター設置について (2) 鹿島台公民館の建て替えについて</p> <p>3 本市の公共交通対策について (1) 改善の基本的考え方について</p>
22	15	中鉢和三郎	<p>1 職員採用難及び若手の離職について (1) ネット情報によれば、自治体全体の採用試験の受験者数は 20 年前の 60 万人台が今では 40 万人台。東京都でも地方部でも等しく低下傾向にある。そして、若手の離職も顕著で 30 歳未満の離職者数は、9 年間で 2.7 倍に増加している。</p> <p>国際的に見て極めて多様な業務を極めて少数の職員で遂行している日本の自治体では業務が質量とともに年々増大し、職員の負担増も著しい。職員に疲弊感が広がり、メンタルヘルス不調での長期病休者率は直近では 2.1%。15 年前の 2.1 倍、25 年前の 8.7 倍に増加しているとのことである。</p> <p>そこで、関連して本市に関し以下について伺う</p> <p>ア 最近 5 年間の採用試験の募集人数と受験者数の推移</p> <p>イ 受験者数確保策</p> <p>ウ 最近 5 年間の 30 歳未満の若手の離職状況</p> <p>エ 若手の離職対策</p> <p>オ 最近 5 年間のメンタルヘルス不調での長期病休者率推移</p> <p>カ 最近 5 年間のエンゲージメントに関する調査結果の推移</p> <p>キ 調査結果を、具体的にどのように活用しているか</p> <p>2 ガバメントハンターについて (1) 11 月 8 日付「ツキノワグマ被害対策に関する緊急要望」の大綱 3 のガバメントハンターの任用は極めて有力な対策と考える。</p> <p>ガバメントハンターは、狩猟免許を持つ自治体職員で鳥獣被害対策の専門家であり、行政の立場から専門的な知識で状況を判断し、直接捕獲活動を行ったり、猟友会と連携したりする役割を担うことを期待される存在である。</p> <p>ツキノワグマ、イノシシ、ニホンジカなど多くの野生鳥獣が、人里に出没する状況は今後長期にわたるものと考えざるを得ず、市民の安全安心を確保するために</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>はガバメントハンターの果たす役割は大きいものと考えるが、国県の支援の下、今後、ガバメントハンターをどのような形で任用する考えか伺う</p> <p>3 病院経営について</p> <p>(1) 病院事業経営は、令和5年度、6年度と赤字決算の苦境に立たされている。先ごろ閣議決定された経済対策には、そうした病院の苦境を改善する支援策が盛り込まれており、業績の改善が見込まれることは朗報である。しかし、昨今の人件費上昇、物価高騰を盛り込んだ診療報酬のプラス改定は見通せず、業績が国政と経済状況に左右される状況は当面続くものと考えざるを得ない。</p> <p>こうした状況下、今後いかにして病院経営を改善、安定化するかを考えると、市民病院に期待される3次救急、がん治療や外科手術等の高度急性期医療、急性期医療の充実は重要だが、分院、診療所、健康管理センター等の経営改善もそれ以上に重要と考えるが、今後の高度急性期医療、急性期医療以外の部分の充実について所見を伺う</p>
23	3	小玉仁志	<p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョン7.0について</p> <p>(1) 令和6年度で最終年度であった第2期大崎市子ども・子育て支援事業計画の評価について</p> <p>(2) 子どもの人口減少とニーズ変化への対応状況について</p> <p>2 世界農業遺産「大崎耕土」の取組状況について</p> <p>(1) 総合計画や農業振興等、本市政策にどのように位置づけられているか、またどのように評価しているか</p> <p>(2) 世界農業遺産としての価値を将来世代に継承するための政策体系の現状について</p> <p>(3) 今後のビジョンと戦略について</p>
24	6	法華栄喜	<p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョン7.0について</p> <p>(1) コミュニティ・スクールの意義と市の現状をどのように認識しているか</p> <p>(2) まちづくりの観点を踏まえて、コミュニティ・スクールを通じた地域の多世代参画の促進と、地域で子どもを育てる仕組みづくりをどのように進めていくのか、市としての考え方を伺う</p> <p>(3) 子どもの学び、育ちを地域で支えるための、コミュニティ・スクールにおける人材育成の在り方について</p> <p>(4) 休日の部活動地域展開とコミュニティ・スクールの協働による地域で子どもを育てる仕組みの構築について</p> <p>2 労働力不足に対応した雇用促進対策について</p> <p>(1) 人材不足が顕著な分野に柔軟に対応するため、自治体公式マッチボックスの導入を検討する考えはあるか</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
			(2) 自治体公式マッチボックスのような勤務時間、スキルに応じたマッチングサービスを活用し、自治体業務の中で短時間勤務が可能な作業を切り出して、柔軟に人材を確保する仕組みを導入する考えはあるか	